

地域おこし協力隊 通信 VOL.69

お問い合わせ先
(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ
電話 5-1114 告知端末機 5-8814
(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」
電話・告知端末機 9-7367

集落支援担当 江坂文昭隊員



北海道に移住して初めての夏、幌延は思いのほか暑く、閉口する毎日です。7月10日の日曜日、問寒別釣倶楽部の山女釣りに参加させていただきました。倶楽部員としてのデビュー戦は、総勢8名、2人組に分かれ、天塩研究林内の「五十嵐の沢」に入渓しました。

雨が少ないため沢の水量も少なく、テンカラ（毛バリ釣り）で挑んだ私は大苦戦。途中から毛バリにブドウ虫を付けて釣ると言う変則（反則）釣法で何とか二桁を達成しましたが、釣り場ポイントをリードしていただいた先輩は、悪コンディションの中でも数十匹の釣果を上げられていましたので、腕の差は歴然でした。今後も精進していきたいと思います。

釣り上げた魚は、女性部員の皆さんが丹精を込めて料理してくださいました。新入部員（今年度は3名）は、恒例の尾頭付きの握り寿司をいただきました。どうもありがとうございました。



山女の天ぷら料理



山女の尾頭付き握り寿司

観光振興担当 吉原ゆりか隊員



こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。今年の夏は幌延らしくない猛暑が続きましたが、8月中旬以降は一気に涼しくなりましたね。みなさん体調はいかがでしょう？

7月18日（日）に「ホロカル3周年ありがとう祭り」をJR幌延駅横で開催しました。新型コロナウイルス感染症の流行以降、町内では久々のイベントだったため、感染防止対策を入念に行なったうえで、対象を町民に絞り、受け入れ態勢を整えました。

会場では、町内の農家さんが飼育するロシア原産の羊「ロマノフスキー」のジンギスカンを実食・販売する初の機会となりました。食べた人の多くが、「臭みが少ない」「柔らかい」と驚いていました。また、幌延シープクラブメンバーが、ロマノフスキーの子どもを連れてきており、羊と触れ合う家族連れの方々が賑わいました。他にもミズナラ樽熟成酒6種の飲み比べセットも販売しました。ふるさと納税限定のワインも含まれており好評でした。

一方ホロカルでは、生地にミズナラ樽熟成日本酒を混ぜ、町内産の蜂蜜バターをサンドした「幌延パンケーキ」を販売しました。人気が高く、お待たせしてしまったお客さんもいました。外に出かけづらい状況の中、楽しい時間を少しでも過ごしていただけたなら幸いです。

また、ホロカルは、開店当初より取り扱う商品が増え、お客さんも増えています。贈り物・お土産品を求めて来店される方も多く、嬉しいです。今後も、町内外の皆さんに愛される場所になるよう、関わっていききたいと思います。



親子連れなどのお客さんで賑わった露店